

「LINE」は“家族との連絡がとりやすい”と思っているのは、シニア層がトップ

～10代・20代の女性の半数以上は“毎日「LINE」を使っている”～

株式会社 NTT ドコモ モバイル社会研究所

目次

調査結果

- ① 「LINE」の利用率は33.8%
- ② SNSは10代～60代まで幅広く利用され、シニア層にも普及が進む
- ③ 「LINE」は“家族・友達との連絡がとりやすい”と思っているのは、シニア層がトップ
- ④ 毎日「LINE」を利用する割合は、10代(61.4%)・20代(50.4%)・30代(43.5%)

本調査は、「ソーシャルメディア利用」回答者から、「利用しているSNS」を調査した結果を集計していることから、回答誤差が比較的多い可能性があります。なお、[2019年版のSNS利用率](#)については、本調査とは異なり、調査対象者全員から「利用しているSNS」を調査した結果を集計しています。あわせてご参照ください。

■ 調査結果

1. 「LINE」の利用率は33.8%

スマートフォンの普及とともに拡大傾向にあるのがSNS。日本における代表的なSNSである「LINE」「Twitter」「Facebook」「Instagram」の利用率について、SNS利用者に対し、2015年から調査した結果、2018年は「LINE」が33.8%でトップ、続いて「Twitter」が22.4%となっている。ウェブサービスは栄枯盛衰が激しく、数年後に状況がガラリと変化していてもおかしくないことから、今後もSNSの利用状況を見ていきたい。

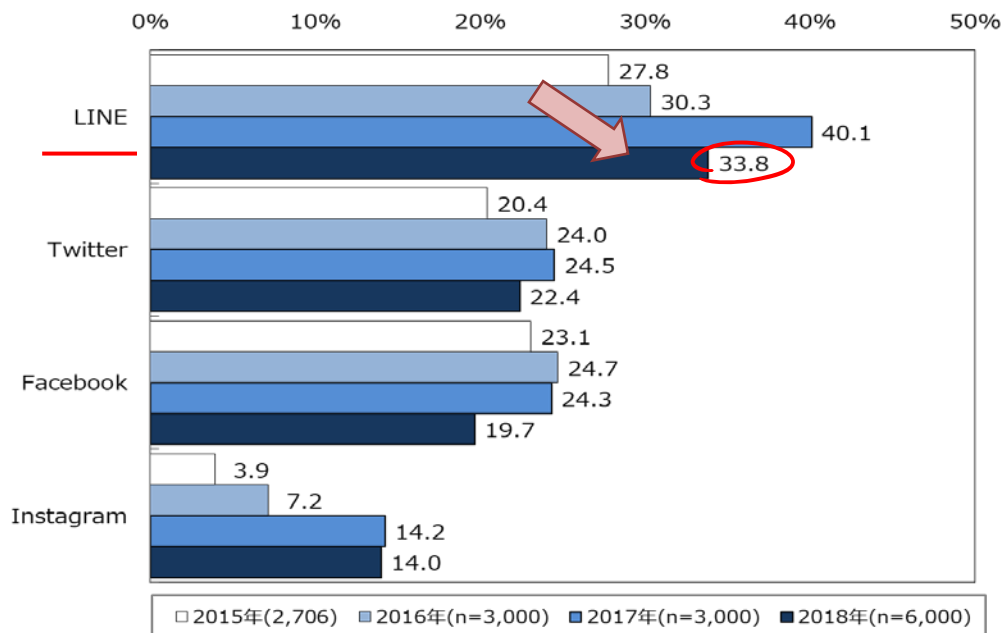


図1 SNSの利用率

2. 「LINE」「Facebook」は幅広い年代に普及

次に、年代別の SNS 利用率を見てみると、「LINE」は10代～60代まで幅広い年代が利用「Twitter」は10代～40代、「Facebook」は20代～50代、「Instagram」は10代～30代とサー

ビスにより年代に違いがある。

また、「LINE」は70代、「Facebook」も60代～70代が10%を超えているため、シニア層にも普及が進んできている。

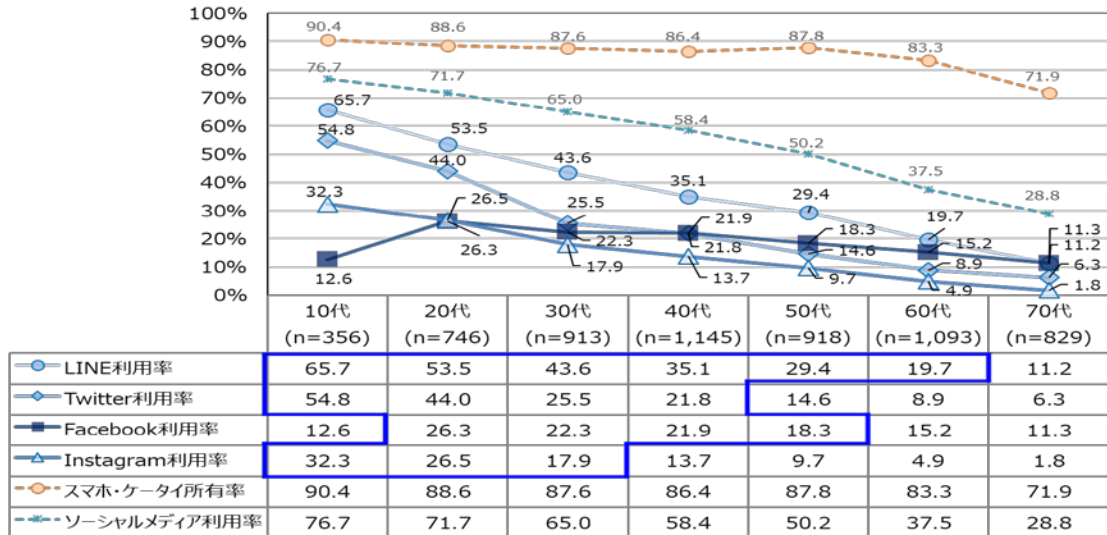


図2 SNS利用率(SA・年代別・2018年)

注:青線口囲みは“普及の基準”といわれる16%*を超えているSNS

*E. M. Rogers 著_藤竹暁訳『技術革新の普及過程』のP109-114(培風館, 1966年)

注:「ほとんど使っていない」を除いて集計

3. 「LINE」は“家族との連絡がとりやすい”と思っているのは、シニア層がトップ

SNS利用率トップの「LINE」について、各年代はどのような意識で利用しているか。全年代で「家族・友達と連絡がとりやすい」が最も高く、シニア層は「写真・動画を一緒に楽しむ」が高い。シニア層にとって、比較的簡単に始められる機能であり、家族との連絡(写真・動画含め)手段として、日常的に活用していることがうかがいしれる。なお、本調査においては、「LINE」のネガティブ要素としてよく取り上げられる「LINEが届いていないか気になる」については割合が低く、ポジティブな意識の方が高い結果となった。

	10代 (n=235)	20代 (n=400)	30代 (n=399)	40代 (n=412)	50代 (n=274)	60代 (n=215)	70代 (n=94)
LINE同士で家族・友達との連絡がとりやすい	73.2	73.8	71.9	69.4	81.0	87.4	88.3
自分達で撮った写真・動画を一緒に楽しむ	24.7	30.8	28.6	18.0	30.3	48.4	55.3
LINEを使っている家族・友達と仲良くなりやすい	27.7	26.0	21.8	14.3	17.2	22.3	26.6
既読後、早く返信しなければと思う	11.9	14.8	13.3	12.4	16.4	20.0	24.5
家族・友達からLINEが届いていないか気になる	15.3	12.3	8.3	7.0	8.4	9.8	16.0

図3 「LINE」に関する意識(MA・年代別・2018年)

注:スマホ・ケータイ所有者かつLINE利用者が回答

4. 毎日「LINE」を利用する割合は、全年代で女性が高い

毎日「LINE」を利用する割合については、女性が全年代、総じて高い。年代別に見ると、男女とも10代が高く、イメージ通りの結果となっている。また、10代～20代の女性の半数以上、30代も4割を超えている。

今回の調査では、相手先の性別については確認できていないものの、“メールだとかしこまってしまうが何か返したい、何となく話したい”といった時に、ユルイ感じで話し続けられる「LINE」や「LINE」スタンプ。その点が、女性に受け入れられているのかもしれない。

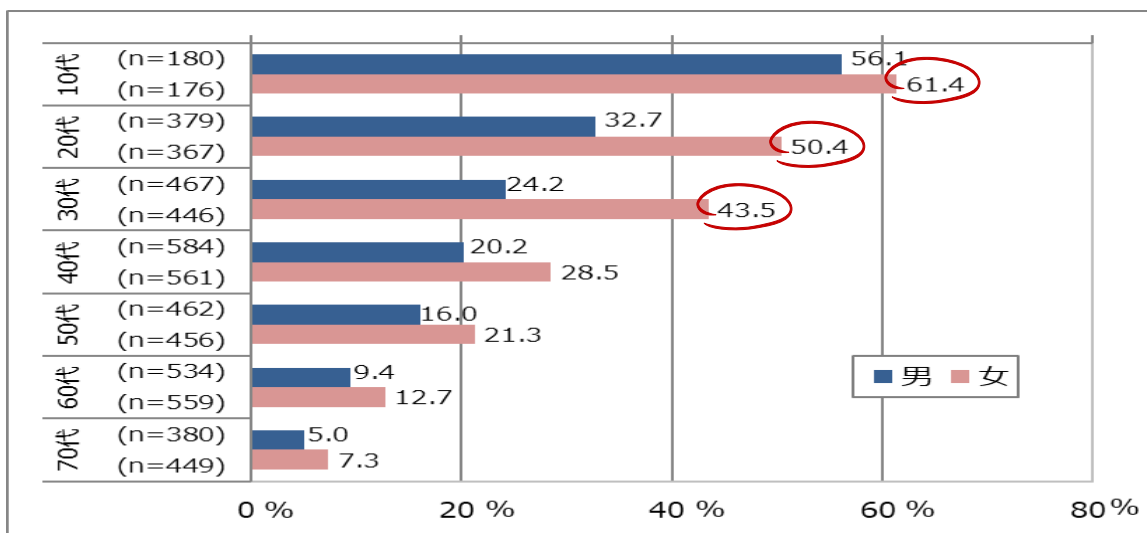


図4 毎日「LINE」を利用する割合(SA・性年代別・2018年)

■調査概要

調査名:経年概況調査(一般向けモバイル動向調査)

調査時期:2015年1月、2016年1月、2017年1月、2018年1月

調査対象:全国・15～79歳男女

調査方法:Web

標本抽出法:QUOTA SAMPLING、性別・年齢(5歳刻み)・居住地域区分のセグメントで日本の人口分布に比例して割付

サンプル数:2015年(2,706サンプル)、2016年(3,000サンプル)、2017年(3,000サンプル)、2018年(6,000サンプル)回収

■問い合わせ先

詳細なデータやご質問など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com